

研修会開催のお知らせ:事例検討会

医療的ケアが必要な子どもをうちで見ていくこと

—子どもの成長と家族への支援を考える—

開催日時： 2024年7月30日(火) 18:30~20:00

場 所： 医王病院 大会議室

事例提供者： 児童発達支援事業所 小村 優茉氏 (金沢ゆとり学園)
相談支援専門員 瀬尾 美咲氏 (医王病院あすなろ)
訪問看護ステーション 橋本 ゆかり氏 (和み訪問看護ステーション)

対 象 者： 医療的ケアが必要な子どもの支援に関わっている医療・福祉・教育・行政関係者等

定 員： 30名程度 ※ひとつの事業所から2名まででお願いします

申込期限： 2024年7月 26日(金)

申 込 先： いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの にメールにて
[所属・職種]を記載し、お申し込みください。
303-icare.ishikawa@mail.hosp.go.jp

問い合わせ先:いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの 担当:木村
TEL 076-203-6090



事例紹介：

人工呼吸器装着、喀痰吸引など複数の医療的ケアが必要な2歳児。

児童発達支援を利用しながら心身の成長がみられる。

しかし自我の目覚めにより、様々なことへの興味の広がり、人工呼吸器のカニューレを抜いてしまうという行動が増えている。また夜間、抜去後、アラームが鳴ることでお母さんが起きてくれるという手段として抜去を繰り返している様子。お母さんは不眠が続いている。この事例を通して、子どもと家族が安全にすごせること、お母さんへの育児支援と医療的ケアの負担軽減をはかるためにどのような支援が必要かを考えたい。

Key words: 自我の目覚め カニューレ抜去 母の休息 在宅ケアの支援 協働

